

法人・事業所概要

社会福祉法人ときわ会

所在地：宮崎県小林市

モデル事業所：

- ・ 特別養護老人ホームひなもり園
（介護老人福祉施設）



導入の背景と事業所の課題

現場を圧迫していた「アナログ運用」と「身体的負担・ケアの質」

アナログ運用

- ・ 契約書やケアプラン等の紙管理による管理・間接コストが負担になっている
- ・ 内部起案、シフト作成等を紙で管理しており、決裁までのフローが煩雑で直接業務を圧迫している

身体的負担・ケアの質

- ・ 重度介護が必要な利用者のケアにおける身体的負担が大きい
- ・ バイタル等のデータを活用した予防ケア（重度化防止）が不十分なため、介助負担が増加している
- ・ 構造が複雑で手間がかかる等の理由で車椅子の定期的な洗浄が難しい

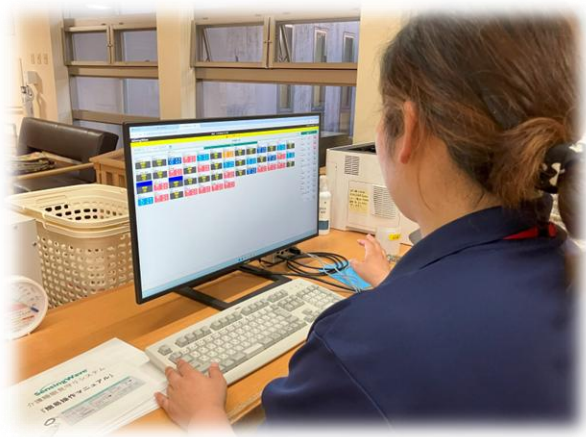


これらの課題をテクノロジーで改善する

導入したテクノロジー

導入機器

導入機器の種別	導入機器（製品名）
移乗支援	リコロール（天井走行リフト）
見守り	SensingWave II（生体センサー）
介護業務支援	ケアカルテLIVE（記録ソフト） ※電子同意オプション付き
その他	リフレッシュャーライト II （車椅子洗浄機）



SensingWave II



リフレッシュャーライト II

導入・定着に向けた取り組み

取組のポイント

① メーカーによる伴走支援を徹底する

② 具体的に工数がどのくらい削減できたか、数値を使って職員に説明する

③ 同じ機器を活用している施設・事業所と情報交換を行い、連携を図る

事業の成果

利用者1人を移動させるために必要な時間が**33%削減**

209秒（床走行）→140秒（天井走行）

1日あたりの車椅子洗浄台数が**4倍に増加**

汚染が放置された車椅子はほぼ0に

同意に係る工程をデジタル化することで工数が**4割削減**

全体の4割以上のご家族が活用

今後の展望

生体センサーのさらなる活用のため、Wi-Fi環境及びモニタリング環境を構築する

テクノロジー導入により得られた知識やノウハウを他法人と共有するための研修会を実施する



利用者・職員双方の心理的・身体的負担を図り
効果的なケア提供に向けた継続的な改善を実施する